

実施クラス	実施日	実施保育者名
4,5 歳児 ほしそら 組	1 月 30 日 ( 金 )	高橋

## ● 実施計画

活動テーマ	
身体の部位の英単語について、歌や体操に合わせて学ぶ。	
活動テーマに関する 日頃の興味関心について	
英語活動を始めてから「これって英語でなんて言うの?」と興味の幅が広がってきている姿がある。今回は身近な体の部位について、子どもたちの好きな歌や体操に合わせて学ぶこととする。	
活動スケジュール	環境設定・準備物
時間	内容
10:00	英語で挨拶 前回の活動の振り返り
10:10	身体の部位の英語を映像に合わせて 発音してみる
10:20	映像に合わせて言われた部位を触ってみる 歌に合わせて、歌ったり身体の部位を 触ってみたりする。
10:30	活動振り返り 英語で終わりの挨拶
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが見やすい場所にモニターを設置する。</li> <li>・体を動かす為、子どもが座る椅子の間隔を広めに設定する。</li> </ul> <b>【準備物】</b> モニター タブレット	

## ● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<b>【ボキャブラリー】</b> 身体の部位を1つずつ確認する。英語で発音するだけでなく、日本語の意味についても確認することで、この言葉は日本語でこういう意味だと結び付けられるようにする。 <b>【エクササイズ】</b> 映像に合わせて体の部位を触ってみる。少しずつ速さを変えることで、挑戦してみようという気持ちを引き出せるようにする。 <b>【ソング】</b> 歌に合わせて今日学んだ体の部位を触ってみる。慣れてくると歌も合わせて歌ってみたり、速さを変えてみたりすることで、最後まで興味を惹きつけることができた。	子どもが英語を楽しみにしている姿はあったが、座学が多くなっていたので体を動かすことを通じて英語学習を行うと、いつもは興味がなく、意欲的でない児も楽しく活動に取り組む姿がある。また実際に触りながら発音してみることで、身にもついている様子で、突然「この部位は英語でなに?」と問いかけても、答えることができていた。 今回の活動を通して「じゃあ体のここはなんて言うの?」「ここは?」と次に繋がる興味へと繋がっていた。

## ● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
・体の部位について英単語の発音だけでなく、実際に触ったり、歌ったり、身体を動かしたりすることで、子どもの意欲が引き出されていった様子を見て、座学だけでなく、友だちや保育者とのやりとりや身体を動かすことをもっと取り入れていくことで、子どもに英語の楽しさを感じてもらえるようになっていくと考える。 ・英語学習が始まり、子どもたちの英語への興味が幅広くなってきている。「これは英語でなんて言うの」という問いも日々の保育の中にも出てきているので、英語学習の時間だけでなく、日常的に英語に触れる機会を作っていく。	歌を歌ったり、体を動かしたりしながら楽しむことは意外と頭に残ります。またみんなでやるのが楽しいことです。楽しみながら笑いながら自然に学びができていく事が子ども達の関心を育てることに繋がるのではないかと思います。楽しんで知識を得る、興味がでる、を考えながら保育を進めていってください。